

バス、タクシーが直面する厳しい現状

～コロナ禍において厳しさを増す経営環境～

- ・ **バス・タクシーなどの自動車交通は、通勤・通学・レジャー等の移動手段、高齢者や身体の不自由な方の移動手段、更には、昨今頻発する台風等により鉄道が運休した場合の代替輸送手段として、まさに国民生活や経済活動の根幹を支える大変重要な役割を果たしています。**
- ・ **しかし、折からのモータリゼーションの進展や人口減少等の影響で輸送人員が減少しており、ただでさえその維持が大変でありましたが、更に今回の新型コロナウイルス感染症が追い打ちとなり、現在、バス・タクシーは極めて厳しい経営環境に立たされています。**
- ・ **バス・タクシーは、いわゆるエッセンシャルサービスとして、新型コロナウイルス禍においても最低限の業務を継続し、社会の安定維持を支えてきたところですが、厳しい経営環境の中で、事業継続が困難となり、廃業を選択せざるを得ない事業者も出ており、今後、こうした傾向に一層拍車がかかることが懸念されます。**

輸送人員の推移とR1との比較

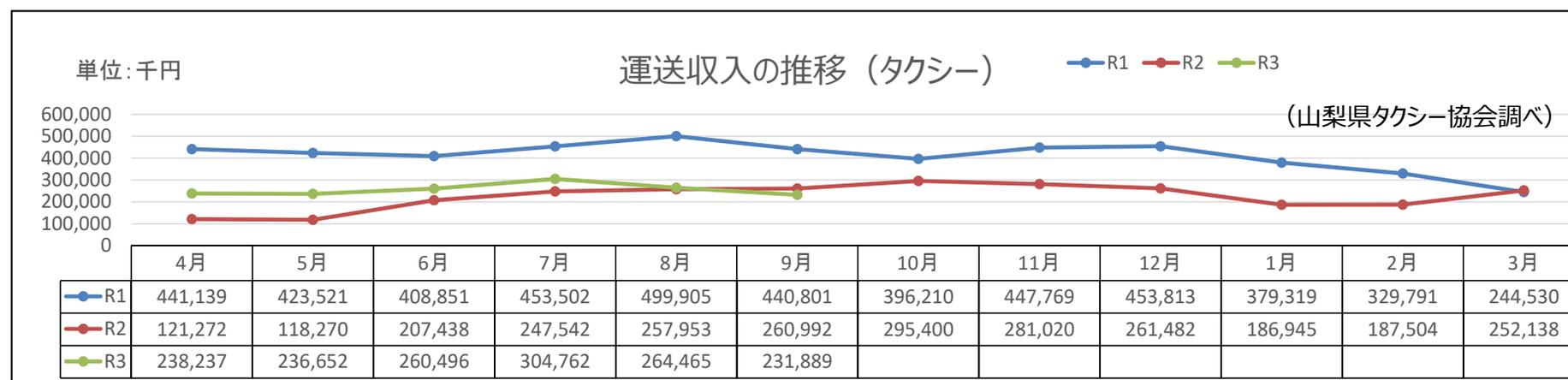
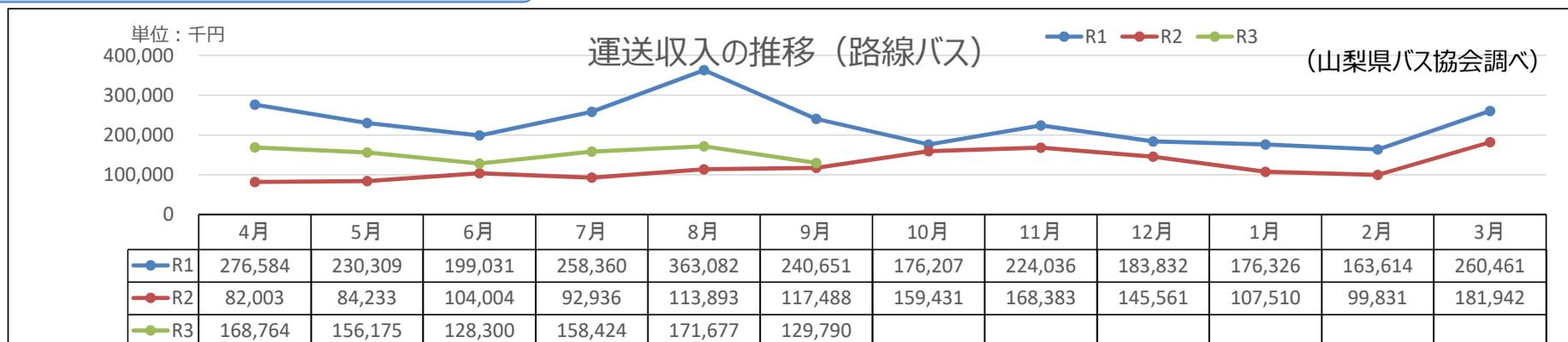
コロナ禍前

| 種別 | R 1 (H30.10～R1.9) | | R 2 (R1.10～R2.9) | | R 3 (R2.10～R3.9) | |
|------|----------------------|------------|---------------------|------------|---------------------|--|
| | R 1 | R 2 | (R1同期比) | R 3 | (R1同期比) | |
| 路線バス | 6,879,045人 | 4,871,113人 | 70.8% | 3,799,287人 | 55.2% | |
| タクシー | 4,473,644人 | 2,883,348人 | 64.4% | 2,398,365人 | 53.6% | |

(路線バスは県内の主要事業者の実績を合算したもの) (タクシーは、山梨県タクシー協会調べ)

公共交通の利用促進策の取り組み状況

運送収入の推移 (R1.4~R3.9)



運送収入のR1との比較

コロナ禍前

| 種別 | R 1 (R1.4~R2.3) | | R 2 (R2.4~R3.3) | | R 3 (R3.4~R3.9) | |
|------|--------------------------------|--|-----------------|---------|-----------------|---------------|
| | R 1 | | R 2 | (R1同期比) | R 3 | (R1同期比) ※2 |
| 路線バス | 2,752,493千円 (1,568,017千円)※1 | | 1,457,215千円 | 52.9% | 913,130千円 | 58.2% |
| タクシー | 4,919,151千円 (2,667,719千円)※1 | | 2,677,956千円 | 54.4% | 1,536,501千円 | 57.5% |

※1 ()はR1.4~R1.9のもの

※2 R3は、R1.4~R1.9との比較

令和3年度の実施状況

新型コロナウイルス感染症に関連した主な支援策

1. バス交通オープンデータ化促進事業（R2.9月補正予算：31,020千円）※R3へ繰越

⇒**コロナ収束後の「新しい生活様式」**に対応しつつ、県民や観光客のバス利用の利便性を向上するため、バスの運行情報を発信している「やまなしバスコンシェルジュ」のシステム改修に対し助成

【内容】

- ・ 補助先は（一社）山梨県バス協会で、補助率は定額補助
- ・ バスのリアルタイム位置情報を検索サイトに情報提供するとともに、車載器の更新を行う
- ・ R3.7から運用を開始（URL）<https://info-yamanashi.buskita.com>



2. 新型コロナワクチン県大規模接種センターへのシャトルバス運行事業（6月補正予算：88,080千円）

⇒被接種者の移動の足を確保するとともに、**バス事業者への支援**を実施

【内容】

- ・ 新型コロナ感染拡大を防止するため、県の大規模接種センターをアイメッセ山梨と県富士吉田合同庁舎に設置
- ・ 移動が困難な高齢者等の利便のため、バスをそれぞれ指定の場所の区間でシャトルバス運行や待機所として活用
- ・ バス業界全体の支援となるよう、県バス協会に業務を委託し、参加事業者（33社）が1日あたり1台の運行となるよう公平性を考慮した運行計画とした

3. タクシー・運転代行利用券発行事業（やまなし食のグリーン・ゾーン応援キャンペーン）（11月補正予算：326,000千円）

⇒食事券利用者の飲酒後等の足として、**タクシー・運転代行の利用促進**を実施

【内容】

- ・ やまなし食のグリーン・ゾーン応援キャンペーン事業の第2弾として発行される20%割引相当のプレミアム食事券に、タクシーと運転代行に使用できる1,000円分のクーポン券を上乗せして販売（クーポン券の配布期間及び利用期間はR4.2.1～4.30まで）

公共交通の利用促進策の取り組み状況

令和3年度の実施状況

◆①公共交通利用の普及・啓発 ・「やまなし公共交通フェスティバル」の開催

○公共交通フェスティバル（令和4年1月29日、30日）⇒中止
車両の展示、公共交通利用促進に関するパネル展示に加えて、クイズラリー、塗り絵教室などを実施



◆②バス利用への誘導 ・バス交通への転換を働きかけるエコ通勤・エコ通学トライアルウィーク

○エコ通勤・エコ通学トライアルウィークの実施（例年3月に実施）⇒中止
参加者に対して、1回100円で一区間バスに乗車できるワンコインエコチケットを配布

令和4年度は取り組みを実施

(参考) 市町村の取り組み状況

| 項目 | 具体的な取り組み |
|----------------------|---|
| 新型コロナウイルス感染症に関連した支援策 | (取組) 事業者への支援金の支給、衛生対策費への補助、住民への商品券（乗車券も含む）の配布、ワクチン接種会場への輸送支援 |
| バス利用への取り組み | (取組) 高齢者をターゲットとして公共交通（バス）を活用したツアーを企画、シルバー定期券の補助 子供達を対象にした出前講座の実施 |
| 免許自主返納について | (取組) 27市町村のうち14市町村で免許返納者に対する支援 (コミュニティバス回数券、タクシー券贈呈 等) |